はなまき通検定

往来物（おうらいもの）

一般社団法人花巻観光協会

＝ は　じ　め　に ＝

『どなたも　どうか　お入りください。

決して　ご遠慮はありません。』

この往来物（テキスト）は、花巻市民の方々に花巻の歴史・文化・自然・先人などに関する知識を深め、花巻の良さを再認識していただくとともに、市民皆さんで観光客をおもてなしできるようにするために実施する「はなまき通検定」の参考書として作成したものである。

内容は、花巻に関する各分野の専門家に是非に知っておいた方がいいと思われる事柄を拾い集めていただいたものであるが、花巻の全てには、未完成の域を出ていないことを付け加えておく。

そのため、「なん～だ、こんなこと知ってる」から「エッ、これが花巻に？」というようなことがあるかも知れない。また、「なんか足りないのでは？」というところもあると思う。

皆さんに、楽しみながら学習する「楽習」気分で、花巻の知識度を高めていただきたいものである。

そして、気軽にこの検定に参加いただきたい。

平成２６年１２月１日
令和２年７月１６日改訂
令和２年１０月８日改訂
令和２年１０月 12 日改訂
はなまき通検定「往来物」　発行元／花観堂

『だんなぁ、だんなぁ』　『おおぃ、おおぃ、ここだぞ、早く来ぃ。』

各個人の年表の年齢は、「満年齢」で表しているが、逝去時には満年齢に達していない場合は空欄となっている。

＝ 目　次 ＝

＜あなたは知ってるね？　花巻市の概要＞

こんにちは花巻市・・・・・・・・・・・　１
歴史　　・・・・・・・・・・・　２
自然　　・・・・・・・・・・・　５
景観　　・・・・・・・・・・・　８
温泉　　・・・・・・・・・・・　９

こんにちは花巻市

〇概要

花巻市は平成 18 年 1 月 1 日、旧花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の 1 市 3 町の合併により誕生した。

人口は９３，３０６人(令和２年６月１日現在)、面積は 908.3 ㎢で、岩手県のほぼ中央、西側に奥羽山脈、東側に北上高地の山並みが連なる北上平野に位置している。

市内には北から南へ北上川が流れ、早池峰国定公園や花巻温泉郷県立自然公園など県を代表する豊かな自然環境が広がると共に、豊富な温泉群を有する。

また、宮沢賢治や萬鉄五郎を始めとした著名な先人を輩出するほか、早池峰神楽や鹿踊などの郷土芸能、南部杜氏の伝統技術など、多彩な文化が色濃く伝えられている。

なお、市の花はハヤチネウスユキソウ、市の鳥はフクロウ、市の木はコブシで、平成 19 年 3 月 1 日に制定されました。また、花巻青年会議所と市内の学生たちにより考案された「フラワーロールちゃん」が、平成 21 年 4 月に花巻市の公認キャラクターとなっています。

〇市名の由来

花巻の地名の起源についての定説はありません。

むかし瑞興寺(ずいこうじ)の近くを北上川が渦を巻いて流れておりましたが、春になると多くの桜の花びらが舞い散って美しい花の渦巻になったことから花巻と呼ぶようになったという説です。

アイヌ語で、このあたりを「パナマッケ（川の下に開けた場所）」と呼んだことから出たという説。このほか、かつてこの辺にあった「花の牧」という牧場からとったという説、平安時代にこの地に置かれたと考えられる「磐基(ハンキ)駅」から訛ってハナマキとなり、花巻の漢字を当てたという説もあります。

現在の「花巻」という文字に固定されたのは、江戸時代の初期です。

〇交通

市内にいわて花巻空港、東北新幹線、東北自動車道、東北横断自動車道を有し、県内の高速交通網の拠点となっています。東京からの距離はちょうど 500km で、500km ポイントを示す標柱が東北本線花巻駅と国道 4 号線銀河大橋上にあります。

鉄道駅は、東北新幹線の新花巻駅、東北本線の花巻駅・花巻空港駅・石鳥谷駅、釜石線には東北本線の花巻駅から似内駅・新花巻駅（東北新幹線接続）・小山田駅・土沢駅・晴山駅があります。

東北自動車道には花巻 IC・花巻南 IC の 2 か所があり、間にある花巻 JCT から東へ向かう釜石自動車にも花巻空港 IC・東和 IC の 2 か所があります。平成 24 年 11 月には東和 IC から宮守 IC 間が、平成 27 年 12 月には宮守 IC から遠野 IC、平成 31 年 3 月には遠野 IC から釜石 JCT までの全線が開通しています。

また国道 4 号線沿いに「石鳥谷道の駅」、県道 43 号線に「はやちね道の駅」、県道 39 号線には「とうわ道の駅」があります。また令和２年８月には県道 13 号線沿いに「道の駅はなまき西南」がオープンしました。

歴史

○歴史の概要

花巻市には、古代からの生活の場であったことを示す縄文時代の遺跡が数多くあります。

弘仁２年（811）の「日本後紀」に「陸奥国に和我、稗縫、斯波の三郡を置く」と記述されており、しばらくしてこの地方は、律令制度の下で安倍氏、藤原四代の統治を受けることとなりました。

その後、約４００年にわたって稗貫氏、和賀氏などの治世下となり、稗貫氏は旧花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町（一部）にまたがった地域を、また、稗貫氏と婚姻をなす和賀氏は、現在の北上地方をはじめ旧東和町の大部分を治めていました。

江戸時代には、本地域を南部氏が統治しました。この地方は、盛岡藩の南端に位置し、軍事上の重要な拠点、穀倉地帯として、陸運・船運も発達し栄えてきました。

廃藩置県が行われた後は、明治２２年（１８８９）の町村制施行、昭和２９年（１９５４）前後の町村合併などを経て、花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が誕生し、それぞれ特徴を生かしながら発展を続け、平成の大合併においては、平成１８年１月１日、１市３町による新設合併が実現した。以下に、各時代の概要を紹介します。

○熊堂古墳群（飛鳥時代～平安時代）

熊堂古墳群は、豊沢川北岸に広がる群集墳。大正時代は「蝦夷塚」「四十八塚」とも呼ばれていた。江戸時代（天保年間）の開墾の際に玉類や刀剣類が大量に出土したと伝えられ、豊富な副葬品を出す古墳として、古くから存在が知られていました。

熊堂古墳群からの出土品には、律令国家側との交流によって入手した位を表す革帯や貨幣（和同開珎）、刀剣類（方頭大刀）などがある。玉類も豊富で、勾玉、管玉、切子玉、丸玉などの種類があり、瑪瑙、碧玉、翡翠などの美しい石やガラスで作られてます。

○花巻の町づくり・城づくり（江戸時代）

豊臣秀吉の奥州仕置によって、南の仙台藩との藩境を守り、稗貫・和賀二郡内の行政を行うところとして、花巻は重要な拠点となっています。南部氏は重臣を花巻城代に任命して、城を中心とした花巻の町づくりを進めました。

江戸時代初期、花巻の町づくりに大きな功績を残した人物が、北信愛（松斎）と南部政直の二人であった。

花巻城最初の城代は、南部氏の重臣であった北秀愛（在職 1591～98）だったが、若くして病死。この後を継いだのが、戦乱の世を戦い抜き南部氏の存続に尽力した父の信愛（在職 1598～1613）であります。信愛は、16 年間に亘って城代を務め、城の修復と城下町の整備にその手腕を発揮した。

天正 18 年（1590）と慶長５年（1600）の２度に亘り、旧領主の家臣団による一揆を受けた花巻城の修復は、堀や土塁の整備など防御力の整備に重点が置かれた。

花巻城は外堀にあたる濁り御堀・上御堀・下御堀、内堀の薬研堀、亀御堀等によって３つの郭が区画され、各郭の出入り口（虎口）には、城門が設置された。

城門のうち、追手門、中御門、円城寺門、西御門、早坂御門の５ヶ所は上部に物見台が付く「櫓門」、東御門、馬場御門、台所御門は切妻屋根がのる「高麗門」だった。

○花巻城

天正１９年（１５９１）九戸政実の乱の平定後、稗貫・和賀・志和の三郡は南部氏の所領となり、

鳥谷ケ崎城は伊達領と境を接する要地であったことから、鳥谷ケ崎城を整備して花巻城と改め、南部家の重臣・北秀愛を城代として八千石を与えられました。

花巻城は、戦乱を生き抜いた藩主にとって、他国からの侵略を防ぎ、領国の平和を保つ上で、最も重要な盛岡藩南端の一大拠点でした。

城と城下町の整備は、近世花巻地方ばかりではなく、領内の繁栄を占う大事業であり、時代と地整及び人心を読み、大胆にして緻密な計画に基づいて展開されました。そして花巻城は、戦乱期から藩政期の激しい時代を経て、花巻の今を育んだ貴重な遺産となっています。

【近年の発掘調査の成果では、花巻城は１６世紀末から１７世紀初頭にかけて石垣の構築、土塁・掘割の強化など、城に大幅な改修が加えられたことがわかっています。】

＊花巻城の構造

南北に約５００m、東西で最大７００m、総面積２０万㎡

奥羽山脈から東に延びる段丘の突出部を利用した城で、下位の段丘面との比高は１２m ほどあります。西側は平坦な面が続くため、広く深い堀を巡らしていました。また、城の周辺は、北上川、瀬川、猿ケ石川、豊沢川が囲む自然の要害であり、水運の要所ともなっていました。

城は本丸、二の丸、三の丸の三郭からなっていました。本丸には天守閣は造られず、藩主は宿泊する御殿と城代以下の役人が詰める御用の間がありました。

二の丸には、年貢米を収納する土蔵が造られ、総石高８万石で、藩全体では２６万石でしたので、藩内でも屈指の穀倉地帯でありました。

三の丸には、武家屋敷が軒を連ねていました。盛岡藩は南の仙台藩と藩境を接しているため、花巻城が警備のための駐屯基地の役割を担っていました。

〇新堀城

新堀城址は、稗貫・紫波両郡を一望できる稗貫郡東端の要衝で、稗貫氏一族の新堀氏が、斯波氏監視のために居城したと伝えられています。

天正１９年（１５９１）の奥羽仕置の後、南部氏家臣の江刺氏が城主となりました。頂上の主郭から北西に二つ郭・三つ郭、北東に四の郭を細長く配置して周囲に深い空堀や土塁を配置した山城で、階段状の構築が残っています。主郭北側の「跡石」という方形の巨岩は、新仙寺境内の稲荷神社がかつて祀られていた場所と伝えられています。

〇土沢城

土沢城は、伊達藩との藩境守備のため花巻城と鍋倉城（遠野城）の中間に置かれた城で、慶長１７年（１６１２）に新堀城から移った江刺氏が城主となりました。丘陵地と沢を利用して、本館、中館、西館、東館などの郭と土塁・空堀が構築され、各郭間の堀には川から水が引かれました。城の南側の城内小路付近に侍屋敷・足軽屋敷、その外側に町民屋敷などが整備されて土沢町を形成しました。二度の火災で焼失後、寛文１０年（１６７０）に廃城となりました。

〇毒沢城

毒沢城は、猿ケ石川の約４km 南に位置する標高２５４m の山頂にある山城で、中心部の規模は東西１００m・南北７０m。この北側の山頂にも郭と見られる平坦地が確認されています。和賀氏の家臣・毒沢氏の居城と推定されていますが、毒沢氏に関係する資料がほとんど失われており、詳しいことは不明であります。なお、和賀氏滅亡後に伊達氏に召し換えられた毒沢氏の娘は、正宗の側室として伊達宗勝（後の一関城主）を産んでいます。【浮田地区コミュニティ会議案内板より＝毒沢城は和賀政義の三男盛義が１３６６（貞治５）年に毒沢氏を名乗り、境界守備のために築城した

といわれています。】

○倉沢城

倉沢城は猿ケ石川から約５．５km 南、江刺郡境の約１．５km 北側に位置する山城で、中心部は東西１４０m・南北６０m の規模があります。山頂と斜面の平坦部を利用して郭を配置し、周囲に空堀と土塁が築かれています。和賀・江刺両郡の交通の要衝であり、江刺郡の監視のために和賀氏が築城したと考えられています。和賀氏家臣である安俵小原氏の初代義郷から三代が、安俵に移住する応永７年（１４００）まで居城したと伝えられています。

○参勤交代と花巻（江戸時代）

参勤交代は、徳川幕府が全国の大名を統率するため、一定の期間江戸での勤務を命じ、国元と江戸を往復させた制度。寛永 12 年（1635）「武家諸法度」により制度化され、軍役をして各大名が用意するべき武器や人数が定められています。藩主の日程はあらかじめ幕府に届出て、決まった日までに江戸到着することが義務付けられています。

10 万石（後に 20 万石）の外様大名であった盛岡藩の場合、行列の規模は江戸時代初期は 800 人余りだったが、次第に減少し 500～600 人程度になり、文化５年（1808）には藩財政の窮迫により 300 人程度に縮小された。

盛岡藩の記録によると、盛岡から江戸までの行程約560kmは13泊14日の例が多く見られます。

○庶民の学問（江戸時代）

江戸時代中期、庶民教育の中心的役割を担ったのは「寺子屋」だった。寺子屋では「読み」「書き」を中心に「そろばん」や世間の風習などを教え、庶民の日常生活に必要で役に立つ知識と技能の習得に力が置かれていた。

寺子屋では「往来物（おうらいもの）」と呼ばれる木版印刷の本を教科書として使うことが一般的だった。「往来物」には書簡型式のものや単語・短句集的なもの、地理教育的なもの、各職業で必要な最小限度の基本知識を集めた職業教育的なものがあった。

○揆奮場（きふんじょう）の創立（江戸時代）

江戸時代末期になると、盛岡藩内では文武教育の振興のために、藩校に倣（なら）って各地に郷校（ごうこう）が開設されるようになった。花巻では御給人（ごきゅうにん）松川滋安（まつかわじあん）が私塾を開いて生徒に教授していたが、花巻地方の文武が振るわないことを嘆き、学校を設立する志を立てた。

松川滋安は、妻と共に魚問屋の副業を営みながら資金を蓄え、安政２年（1855）花巻城三の丸に文学教場と武芸道場を備えた施設を建設した。万延（まんえん）元年（1860）、この施設は「揆奮場」と名づけられ盛岡藩に献納された。揆奮場は、東西約 60間（けん）（108m）、南北約 30 間（54m）の敷地に文学教場と武芸道場が備えられてあった。文学教場では国学・漢学・数学・軍学等が教授されたが、教科書となる書籍は高価で、持っている者も非常に少ない状況だった。そのため、揆奮場では花巻御給人の堀内純平（ほりうちじゅんぺい）、三九郎（さんくろう）兄弟に木版活字を作らせ、備え付けの教科書として印刷した。

○交通の近代化と花巻（明治～大正時代）

明治 23 年（1890）11 月、上野～盛岡間に鉄道が開通し花巻駅が開業した。これにより、それまでの北上川の舟運から鉄道運輸に切り替わり、商業取引の範囲が広がると共に、大量運送が可能になった。しかし、太平洋沿岸部との連絡は北上高地が大きな障害となっていた。明治 43 年（1910）、地域間の連絡と開発を目的とした軽便（けいべん）鉄道法が施行され、岩手県では翌 44 年に花巻を基点として遠野経由で釜石と結ぶ岩手軽便鉄道株式会社（資本金 100 万円）が創設された。４年後には、花巻ー仙人峠間が開通し、峠越えのケーブルを介して釜石鉱山鉄道と繋がった。

自然

○地形

花巻市は西に奥羽山脈、東に北上高地の山並みが連なり、間に肥沃な北上平野が広がっています。平野部には北から南に北上川が流れ、ここに奥羽山脈から葛丸川・耳取川・滝沢川・瀬川・豊沢川などが注ぎ、北上高地からは稗貫川・添市川・猿ヶ石川などが注いでいます。上流には早池峰ダム（稗貫川上流）・葛丸ダム（葛丸川）・豊沢ダム（豊沢川）・田瀬ダム（猿ケ石川）があります。

以下に代表的なものからいくつかを取り上げ、詳細を紹介します。

○早池峰山と薬師岳

早池峰山(1917m)は、５～４億年以上前の古生代オルドビス紀～シルル紀の日本最古級の地層が眠っているとされ、現在のような山容になるまでには、大きな移動や隆起、浸食などを繰り返したと考えられています。しかし、陸地化してからは一度も海中に沈むことはなく、氷河時代の激しい寒暖の差によって形成された岩塊は、早池峰山独特の景観を形成することになった。

早池峰山は、日本の山の規模としては高さも広さも極めて小さいが、固有種であるハヤチネウスユキソウ、ミヤマヤマブキショウマ、ナンブトラノオ、ナンブトウウチソウ、ヒメコザクラをはじめとする、数多くの高山植物が生育している点で学術上極めて貴重な山であります。その要因としては、早池峰山が形成された年代が極めて古く、他の高山にはみられない古い起源の植物が生育していることや、超塩基性の蛇紋岩からなる地質が他の植物の進入を防いだことによります。

一方、早池峰山の南に対峙する薬師岳（1645m）は、その山体が花崗岩からなり、独特の森林植物帯を構成しています。このことにより、早池峰山と薬師岳は近接しながらも、植物群に明瞭な違いが認められることから、「早池峰山及び薬師岳の高山帯・森林植物群落」として国の特別天然記念物に指定され、一帯は国定公園として保護されています。

○花輪堤ハナショウブ群落

「花輪堤ハナショウブ群落」は、花巻市宮野目の宮野目小・中学校の北、JR 東北本線のすぐ東側の平地に所在しています。指定地域は約 16,700 ㎡に及び、ノハナショウブ自生地としては本州北限といわれています。周辺は、「花輪堤 花菖蒲ふれあい公園」となっており、市民の憩いの場として利用されており、「花輪堤ハナショウブ群落」のノハナショウブの花の色は、淡い赤紫色や青みがかった紫色などさまざまで、開花の季節（６月下旬から７月中旬）には色彩あざやかな可憐な花を観察することができます。堤の中は天然記念物の指定地域であるため立入禁止となっていますが、公園内南東側の土手上から咲いている花々を見ることができます。

○カズクリ自生地

カズクリは東和町の石鳩岡に所在しています。本来クリは雌雄同株で、普通のものは花序の基部に1～2 個の雌花をつけ、他はすべて雄花を着生します。カズクリの場合は、花序に着生する花はすべて雌花で、雄花は全く生じないという着花習性の異常型で突然変異の所産であります。

八房栗とも呼ばれる通り、実がなる頃になると大小無数のイガが長く連なって１５～２４cm になり、ブドウの房や哺乳類の尾のように見えます。イガのうち完全な果実となるのは基部のものだけで、中央部から先端にかけてはイガのみになり。基部の果実は 1 個のイガの中に 3～4 個の種子が入り、ちょっと小粒。日本の中では、長野県の和田峠にもあったが、大正の頃に枯死し、この地域にのみ現存が確認されている珍木であります。

○葛丸川渓流

石鳥谷町にある6km にわたる渓流。バードウォッチング、渓流釣りに最適で、紅葉の名所としても有名。葛丸ダム、一ノ滝のほか、毎年測定会が行われるたろし滝もあります。

また、宮沢賢治の童話「楢ノ木大学士の野宿」の舞台にもなっています。初期形では「青木大学士の野宿」といい、賢治が葛丸川流域の土性調査の下調べのため、野宿をしながら踏査した時の事柄が童話となった。作品中、４人兄弟の山々の親に当たるのが青ノ木森で、ダム周辺に実在する山であります。葛丸川周辺にはこのほか高狸山、塚瀬森などがそびえています。

葛丸川上流にある葛丸ダムは農林省により建設された農業専用のダムで、紫波町の山王海ダムと２本のトンネルで結ばれた日本初の親子ダムであり、湖畔には展望台や宮沢賢治の歌碑（「葛丸」）などが整備され、散策にも適しています。

たろし滝はとげし森から葛丸川にそそぐ沢水が山の中腹で凍ってできる大氷柱。「たろし」とはつららの意味で、古語の「垂氷」がなまったもの。出来る氷柱の形が滝に似ていることからこの名がついたとされ、昔から大瀬川地区(古くは畑地区)では、氷柱の太さでその年の作柄を占ったとされています。氷柱の高さは 13mあり、太さは記録が残っているものでは大豊作となった昭和 53 年の８m が最高。毎年２月 11 日に測定会が行われています。

○大空滝

規模　高さ＝８３m、幅＝６m。滝は７層になっています。

位置　花巻西方に、花巻市と雫石町の境にある標高８６０m の「なめとこ山」付近に位置しています。

銀河なめとこライン（主要地方道花巻大曲線）を西に進み県道花巻雫石線との分岐点より車で３分、中山１号トンネルを出たところ右手に大空滝散策路の登り口があり、そこから徒歩約３．４km 片道７０分を要し滝に到着します。

大空滝周辺一帯は、今なおブナの自然林が多く茂っており、樹齢百年以上の巨木も堂々と立っており、その姿には感動を覚えるほどだ。滝への散策路、さらに中山峠までの道を歩いて、そんなブナ林に出会うのもいい。（さらに3km 片道６０分延長）

まるで大空から滝が降ってくるように見えることから、この名前が付いたと言われています。

【宮沢賢治作童話「なめとこ山の熊」より】

> 中山街道はこのごろ誰も歩かないから蕗(ふき)やいたどりがいっぱいに生えたり（中略）そこをがさがさ三里ばかり行くと向こうの方で風が山の頂を通っているような音がする。気をつけてそっちを見ると何だかわけのわからない白い細長いものが山をうごいて落ちてけむりを立てているのがわかる。それがなめとこ山の大空滝だ。

○胡四王山

胡四王山は、市街地の東部・北上川の東に位置する標高１８３m の小高い山であり、宮沢賢治は、「雨ニモマケズ」を記した手帳に「経埋ムベキ山」と題された岩手県内の３２の山々の名前が記されており、この山はその２番目に書かれた最もゆかりの深い山であります。

このことから、この山には宮沢賢治記念館やイーハトーブ館が建てられ、賢治の文語詩未定稿「丘」でもこの山をとりあげています。

また、胡四王山一帯は、岩手県の環境緑地保全地域に指定され、植物の種類に富み、薬草・山菜は無論のこと、小鳥や昆虫の種類も多いです。

山頂付近にある胡四王神社へ通じる参道の中腹には、「化女石」といわれる石がありますが、昔女

人禁制で、女がこの山に登ることが禁じられていたが、その定めを破って山に登った女人が石と化したものと伝えられている。このほかにも、触れると愛が生まれるといわれる珍木「愛染杉」や北側に位置する三峰神社「岩谷不動の胎内くぐり」などがあり、多くの市民の憩いの場や散策エリアとなっています。

＊市指定天然記念物（動物）「胡四王山のヒメギフチョウ群生地」

ヒメギフチョウは、「いわてレッドデータブック」ではＣランク（存在基盤のき弱な種）とされ、県内に広く分布しているが環境の悪化により生息数は減少しています。

＊市指定有形文化財構造物「胡四王神社拝殿と本殿」

坂上田村麻呂が薬師如来を祀った場所で、当初は天台宗の薬師堂だったと伝えられています。拝殿は慶応３年（1867）、本殿は大正元年（1912）の建築で「大和流」の彫刻が各部に飾られています。

○早池峰山

標高１９１７m、北上山地の最高峰で、山肌のいたるところに巨岩、巨石が露出し、そのはざまは氷河期の厳しい自然に耐えて生き残った、可憐な高山植物が咲き誇っています。（山頂は、花巻市、遠野市、宮古市の３つの市の境界となっています。）３つある登山コースのうち、一般的なのが河原の坊コースと小田越コース。（河原の坊コースは登山道の崩落により平成２８年5月２８日から通行止め。）急斜面ですが、初心者でも３時間で山頂へたどり着けます。高山植物で有名な早池峰山は、樹林帯の紅葉も美しい。蛇紋岩で構成される早池峰山のすそ野に鮮やかな紅葉が広がる様は、麓から見上げる眺めの素晴らしさはもちろんのこと、５合目付近から見下ろすパノラマは正に絶景であります。

「山開き」　毎年６月第２日曜日

◆早池峰山固有種

＊ハヤチネウスユキソウ（キク科）＝早池峰山の象徴ともいうべき本山固有種。花期は７月～８月で高山帯中腹付近から現れ始めます。白毛で白く見える葉を薄く積もった雪にたとえて「薄雪草」と名付けられました。

＊ナンブトラノオ（タデ科）＝花期は７月～８月。遅いものでは９月に入って咲くものもあります。高山帯下部から山頂付近の広範囲で草地や礫地に自生。草丈は２０センチほどで、先端に「虎の尾」の由来となったピンクの小花を多数つけます。

＊ナンブトウウチソウ（バラ科）＝花期は７月～８月。高山帯南斜面の草地や礫地で多く見受けられ、美しい淡紅紫色の花を穂状密集。「トウウチ（唐打）」とは昔中国から渡米した打紐のことで、花穂の形状がそれに似ていることから名づけられました。

＊ヒメコザクラ＝日本産のサクラソウの仲間では一番小さく、花径は１センチ程度。６月初旬から中旬に見ごろを迎えます。

◆早池峰山の保護と指定

＊早池峰国定公園＝昭和５７年（１９８２）、特別天然記念物をはじめ、天然記念物・自然環境保全地域が国定公園の指定を受けました。

＊自然環境保全地域＝昭和５０年（１９７５）から、早池峰北山麓のうち、西よりの約１３７０ha が指定されました。

＊早池峰鳥獣保護区＝鳥獣保護区として６１１８ha が指定されており、このうち２４２２ha は鳥獣特別保護地区となっています。

＊特別天然記念物「早池峰山高山植物帯」＝昭和３２年（１９５７）、河原の坊コース上部約４０ha が国の天然記念物に指定。昭和３２年（１９５７）、同区域が特別天然記念物に昇格。昭和４９年（１９７４）、指定区域が標高１３００m 以高の早池峰連山全域に拡張されました。

＊天然記念物「アカエゾマツ自生南限地」＝昭和５０年（１９７５）、早池峰北斜面の６．９２ha 部分が国の天然記念物に指定されました。

＊保安林＝早池峰地域の一帯は、保安林（水源かん養保安林、土砂流出防備保安林）の指定を受けています。

あなたは知ってるね？花巻市の概要

景観

○国指定名勝　イーハトーブの風景地

宮沢賢治の文学的景観として国の名勝に指定された「イーハトーブの風景地」には、花巻から「釜淵の滝」「五輪峠」（平成 17 年３月指定）「イギリス海岸」（平成 18 年７月指定）が選ばれています。

釜淵の滝は、花巻温泉・佳松園の近くにある滝で、瀬川の上流でさらに支流となる台川の峡谷にあります。丸く盛り上がる岩床の表面を舐めるように水が洗っている美しい滝で、宮沢賢治の文学作品「台川」に登場します。作品「台川」は、宮沢賢治が稗貫(花巻)農学校の野外授業で生徒たちを引率し、台川沿いを遡って釜淵の滝に至った際の経験をもとに書かれたようであります。

五輪峠は、花巻市・奥州市・遠野市の３市の境界が接する北上山地の中、標高５５６m の場所に位置しており、峠の道脇に五輪塔が建っていることから、「五輪峠」と名付けられています。五輪塔は、５つの石を積み上げて造られており、一番下の四角いものから順に、地・水・火・風・空を表しています。全体の高さは約２４０cm。そのとなりに立つ石碑には、賢治の五輪峠の詩がきざまれています。

五輪峠と名づけしは　地輪水輪また火風
（巌のむらと雪の松）　峠五つの故ならず
ひかりうづまく黒の雲　ほそぼそめぐる風のみち
苔蒸す塔のかなたにて　大野青々みぞれしぬ

イギリス海岸は、北上川と支流猿ケ石川の合流点から南にかけての北上川西岸に、イギリスのドーバー海峡に面した白亜の海岸を連想させる泥岩層が露出することにちなみ、宮沢賢治が「イギリス海岸」と名付けた。作品「イギリス海岸」は、稗貫(花巻)農学校の夏休みの農場実習の合間に、宮沢賢治が生徒たちを引率して町の人たちの水浴場となっていた「イギリス海岸」を訪れ、北上川で泳いだり、動物の足跡や炭化した胡桃の化石を発見した際の経験をもとに書かれたようであります。

○花巻八景

合併前の旧花巻市で、平成 16 年に市民の公募で選定された、旧花巻市を代表する風景地。

円万寺観音山散居風景・釜淵の滝・大沢の曲り橋風景・高村山荘・清水寺・平良木の立岩・大空滝とブナ林・イギリス海岸の８つです。

○東和ミステリースポット

東和町ではミステリースポットとして丹内山神社、カズクリ、ミステリー坂、七つ鉢の４つを紹介しています。（丹内山神社とカズクリは別項参照。）

ミステリー坂は東和町東晴山にある石岡山スロープ。缶や水、ギアをニュートラルにいれた車など

が坂を登って行くように見えます。目の錯覚と言われていますが、詳しい理由は判っていません。

「七つ鉢」は七つ滝のおう穴（甌穴）のことで、市の天然記念物にも指定されています。おう穴とは岩盤のくぼみに入った小石が流れで回転して岩石を削ってできる円筒形の穴のこと。この七つ滝では、穴を七つの鉢に見立てて、「七つ鉢」と言います。「水をかき混ぜると雨が降る」という言い伝えは、干害に苦労してきた地域の歴史を思わせています。

あなたは知ってるね？花巻市の概要

温泉

○花巻の温泉

日本中に宿泊施設を伴う温泉地が 3085 か所（2014 年）あるといわれているが、花巻には 12 カ所もあり、全国でも珍しい温泉天国であります。

台温泉を始め鉛、大沢、志戸平の各温泉は、湯元が発見された年代について様々な説がありますが、300 年～400 年前と云われています。

市内の温泉の泉質は、いくつかの異なる温泉もありますが、概ね炭酸水素塩泉（アルカリ泉）であります。（皮膚病（湿疹・アトピー皮膚炎）、飲泉で胃潰瘍、痛風に効果あり）

台温泉は花巻で最も早く発見され、南部藩お抱えの歴史ある温泉として栄えた。平地の少ない湯の沢川（台川支流）沿いの谷底に位置していたため、更なる温泉街の拡充は困難であった。そこで同温泉からお湯を引いて新しいスパリゾート開発をしようとの構想が生まれ、現在の花巻温泉に至ります。台温泉の泉質・効能はそれぞれの旅館によって異なる特徴を持っており、源泉数 11 本を数えます。

花巻温泉は、兵庫県宝塚新温泉にならって電車を走らせ、且つ遊園地や動物園、スポーツ施設等も兼ね備えた北日本初のスパリゾート『台遊園地新温泉』として大正 12 年（1923）華々しく開業した。中でもナイタースキー場が日本初であったことはあまり知られていません。

また北上川の東側では温泉が出ないという説を見事に覆した東和温泉、温泉を医療施設用にとボウリングした松倉温泉（現悠の湯風の季）・ひまわり温泉（今はいずれも目的変更）、新鉛温泉は豊沢ダム建設工事の技術と人材を活かしてできた温泉と云って良いです。

渡り温泉は女性客をターゲットに、鉛温泉は宮沢賢治の作品に、大沢温泉は光太郎・賢治ゆかりの温泉でもあります。

温泉名	開業年	歴　　史	収容人員	泉質
花巻温泉	1923 年 (大正 12)	台温泉より温泉を引き込み、電車・遊園地・スポーツ施設等備えた北日本初のスパリゾートとして開発された。	2182	単純温泉 (佳松園はﾅﾄﾘｳﾑ泉)
台温泉	不　　詳 (1673 年以前?)	湯壺 1387 年頃の発見との説あり。 南部藩お抱えの歴史ある温泉として栄えた。	432	旅館により異なる。弱ｱﾙｶﾘ・硫黄・Na・硫酸塩泉など。
金矢温泉	1980 年 (昭和 55)	厚生年金事業団保養施設として開業。現在は民営となっている。	70	アルカリ性単純温泉
悠の湯（旧松倉温泉)	1965 年 (昭和 40)	もともと医療保養施設用としてボウリングした温泉。	180	アルカリ高温泉
志戸平温泉	1830 年	大沢温泉創業の久保田一族が木賃宿として開業。温	922	ﾅﾄﾘｳﾑ-硫酸塩・塩化物

	(天保元)	泉は 1639 年頃発見。		泉、単純温泉
渡り温泉	1990 年 (平成 2)	高弥建設グループとして、女性客を意識して創業。	528	単純泉
大沢温泉	1791 年 (寛政 3)	1630 年代志戸平と前後して村人により発見。秋田の久保田城から湯口に落ち延びた久保田一族が開業した。	527	アルカリ性単純泉
山の神温泉	2005 年 (平成 17)	水沢の丸伊工業が主として日帰り入浴施設だった山ノ神温泉をリゾート開発した。	340	アルカリ単純高温泉
鉛温泉	1789 年 (寛政元)	村人藤井三右エ門によって源泉発見(1763 年)。子息が湯壺整備。賢治作品に登場する(鹿踊りのはじまり、なめとこ山の熊)	187	アルカリ性単純高温泉
新鉛温泉	1962 年 (昭和 37)	温泉峡の最奥部の温泉。高齢者に人気が高い。 ※鉛と新鉛の中間に「西鉛温泉(秀清館)」があった。(1919～1952)	564	ﾅﾄﾘｳﾑ・ｶﾙｼｳﾑ-硫酸塩泉、ﾅﾄﾘｳﾑ-硫酸・炭酸水素塩泉
東和温泉	1996 年 (平成 8)	旧東和町がふるさと創生事業の一環として開業。JR「フォルクローロいわて東和」を隣接している。	82	弱ｱﾙｶﾘ単純温泉
花巻北温泉	1997 年 (平成 9)	もともと医療用としてボウリング。日帰り「ぎんがの湯」に隣接して宿泊施設「健考館」がある。	26	アルカリ高温泉

協力(敬称略)

(一財)花巻高村光太郎記念会

㈱エーデルワイン

南部杜氏伝承館

花巻市観光課

花巻市文化財課

花巻市博物館

花巻新渡戸記念館

宮沢賢治記念館

萬鉄五郎記念美術館

花巻おもてなし観光ガイドの会

＝ あ　と　が　き ＝

どっどど　どどうど　どどうど　どどう

青いくるみも吹きとばせ　すっぱいかりんも吹きとばせ　『あいつは風の又三郎だぞ。』

「はなまき通検定」の参考書として編集したこの往来物（テキスト）は、皆さんの花巻の知識度を高めることと検定意欲の盛り上げに役立ったでしょうか？

既刊のテキストに新たに追加した内容もあるが、十分なものであるならば幸せである。

この往来物を基に検定問題作成班は新鮮な問題や難問（？）作成に向かっていく。

皆さんは、ジブンヲカンジョウニ入レズニ　ヨクミキキシワカリ

どっどど　どどうどと解答して欲しい。

・・・